



# Arcserve Replication and High Availability

## Arcserve Replication and High Availability の構成例

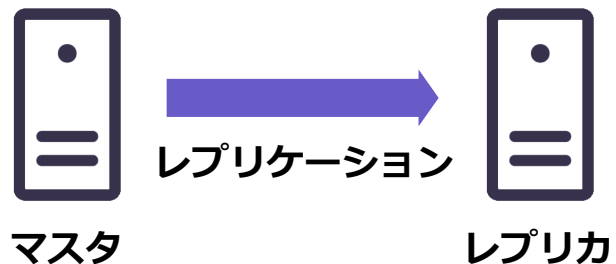


## Arcserve Replication and High Availability の 基本構成

# Arcserve Replicationでサポートする構成例（基本編）

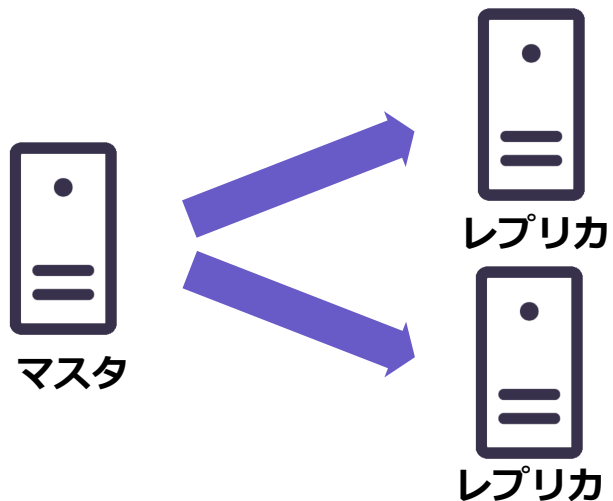


## 1 対 1 レプリケーション



Arcserve Replication利用時の、基本の構成です。

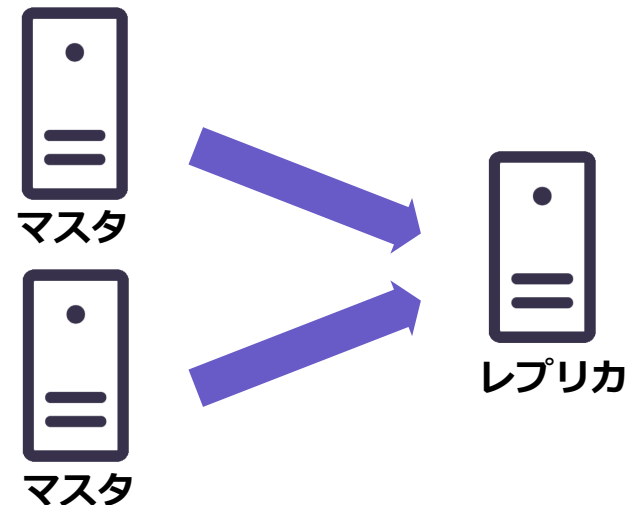
## 1 対 N レプリケーション



マスタサーバのデータを複数のサーバに複製し、データを重複で保護します。

本社のデータを各拠点に配布するようなパターンでご利用いただけます。

## N 対 1 レプリケーション



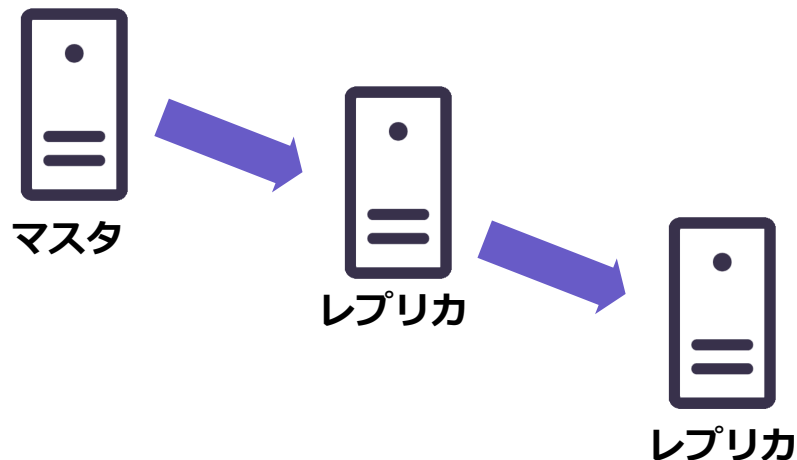
複数サーバのデータを1台のレプリカサーバに集約して保護する構成です。

支社のデータを本社に集約するようなパターンでご利用いただけます。

# Arcserve Replicationでサポートする構成例（基本編）



## 1 対 1 対 1 レプリケーション

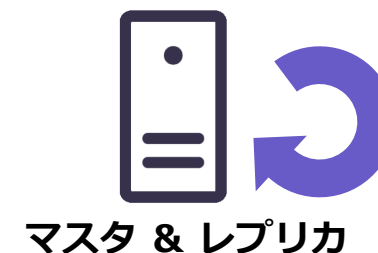


レプリケーションを順次行っていく構成です。  
ローカル環境で、レプリケーションした後、さらに遠隔地にデータをレプリケーションして二重の保護をする場合にご利用いただくことが多い構成例です。

(参考情報)

<https://arcserve.txt-nifty.com/blog/2014/02/arcserve-replic.html>

## シングルサーバレプリケーション



最小構成であり、マスタサーバに保存されるファイルを、同一サーバ内のディスク、外付けハードディスク、NASなどに複製します。

(参考情報)

<https://www.arcserve.com/sites/default/files/2024-01/asrha-one-license.pdf>

# Arcserve High Availability でサポートする構成例（基本編）



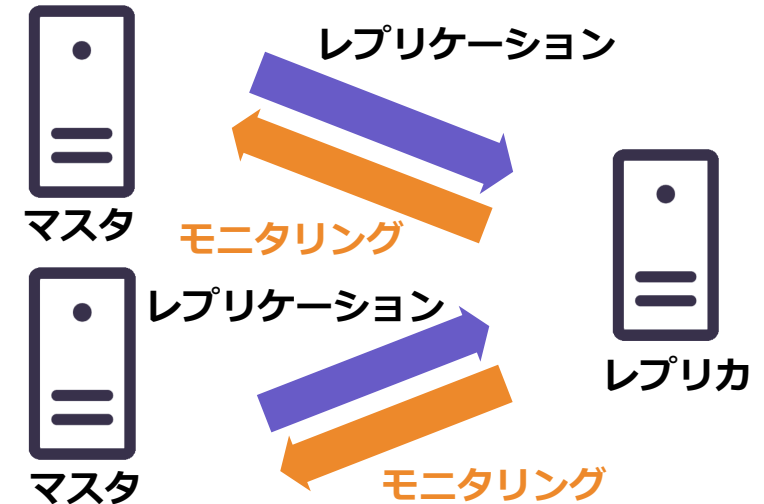
## 1 対 1 ハイアベイラビリティ



Arcserve High Availabilityを使う基本の構成です。

マスタサーバの障害時に自動で切り替えできるため、業務の中断時間を最小限に抑えることができます。

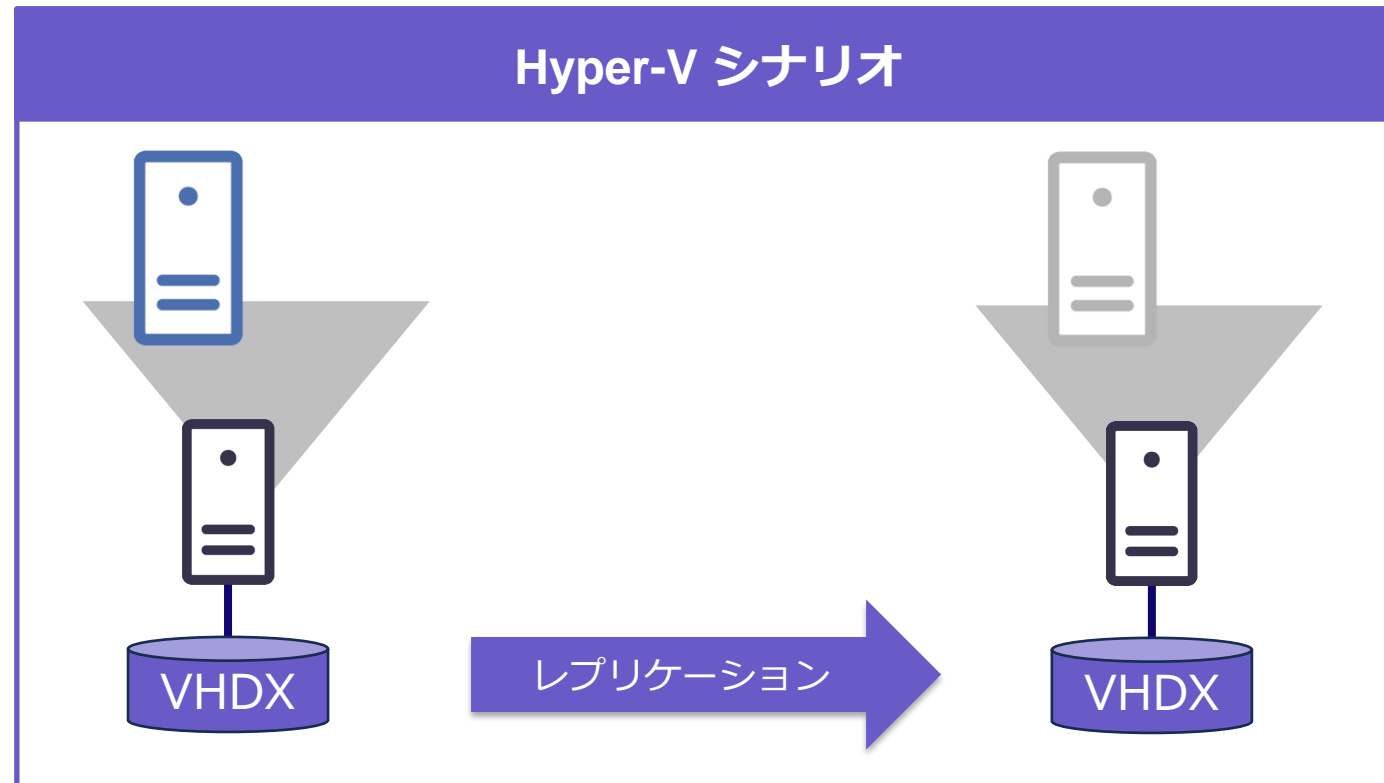
## N 対1 ハイアベイラビリティ



マスタサーバの1台に障害が起こった場合にも、レプリカ側で切り替えて利用することができます。

また、レプリカサーバを1台に集約することで、レプリカ用のマシンの投資を抑えることができる構成です。

# Arcserve Replication / High Availability Hyper-V シナリオ

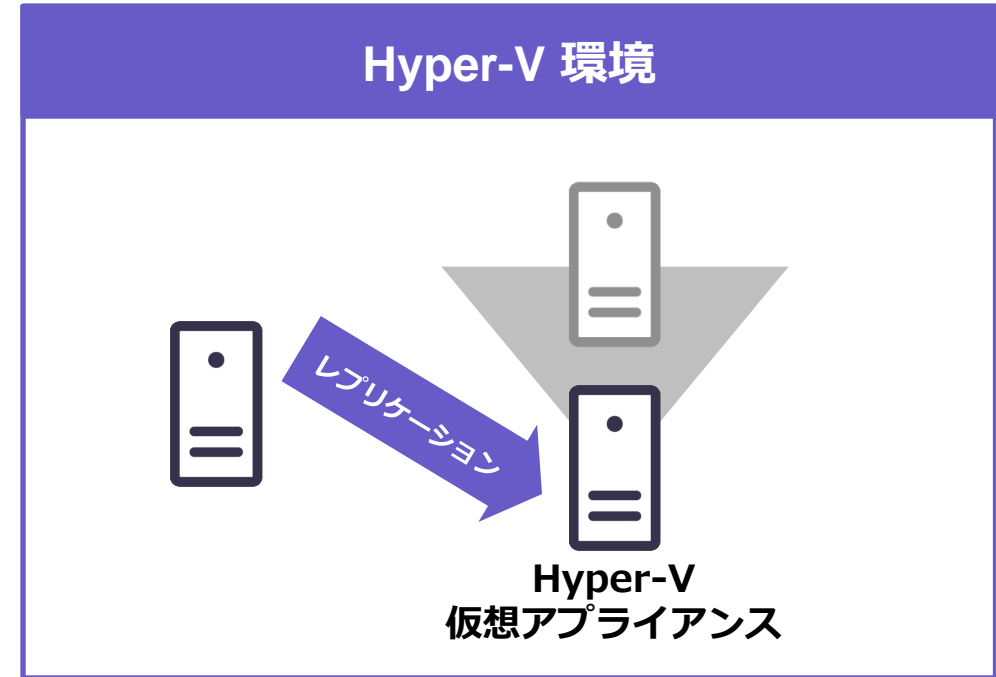
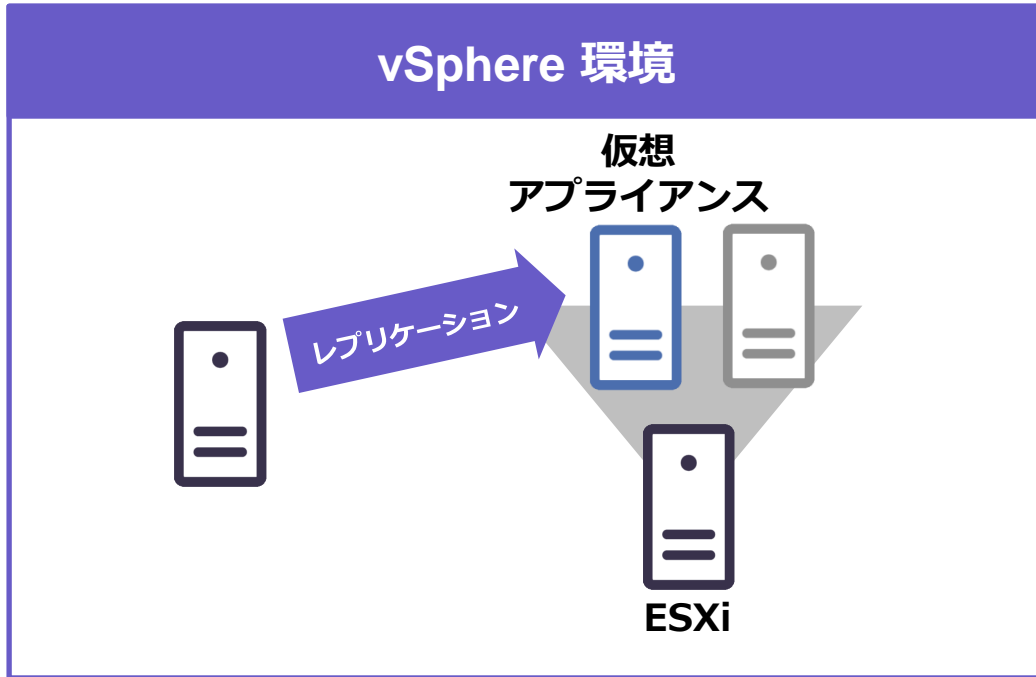


Hyper-Vシナリオは、ゲストを丸ごと複製できるため、Hyper-V 環境の災害対策を簡単に構築できます。  
※ 切り替えた後すぐに仮想マシンを起動させるには、Arcserve High Availabilityの構成がおすすめです。  
(参考情報)

<https://www.arcserve.com/sites/default/files/2024-02/rha-hyper-v.pdf>

<https://www.arcserve.com/sites/default/files/2023-01/rha-hyper-v-ha-tech-guide.pdf>

# Arcserve Replication / High Availability フルシステム シナリオ



サーバを仮想変換し、本番マシンに障害があった際に仮想マシンとして起動する構成が、フルシステム シナリオです。Hyper-V シナリオと同じくOSを含めたマシン全体を仮想上に構築できます。レプリケーションのため、複製先に仮想アプライアンスを構築する必要があります。

他に、Microsoft Azure、Amazon Web Services に対してフル システム シナリオを実行する構成もございます。

(参考情報)

<https://www.arcserve.com/sites/default/files/wp-doc/rha-fsha-win-guide.pdf>

<https://www.arcserve.com/sites/default/files/wp-doc/rha-fsha-winesx-guide.pdf>

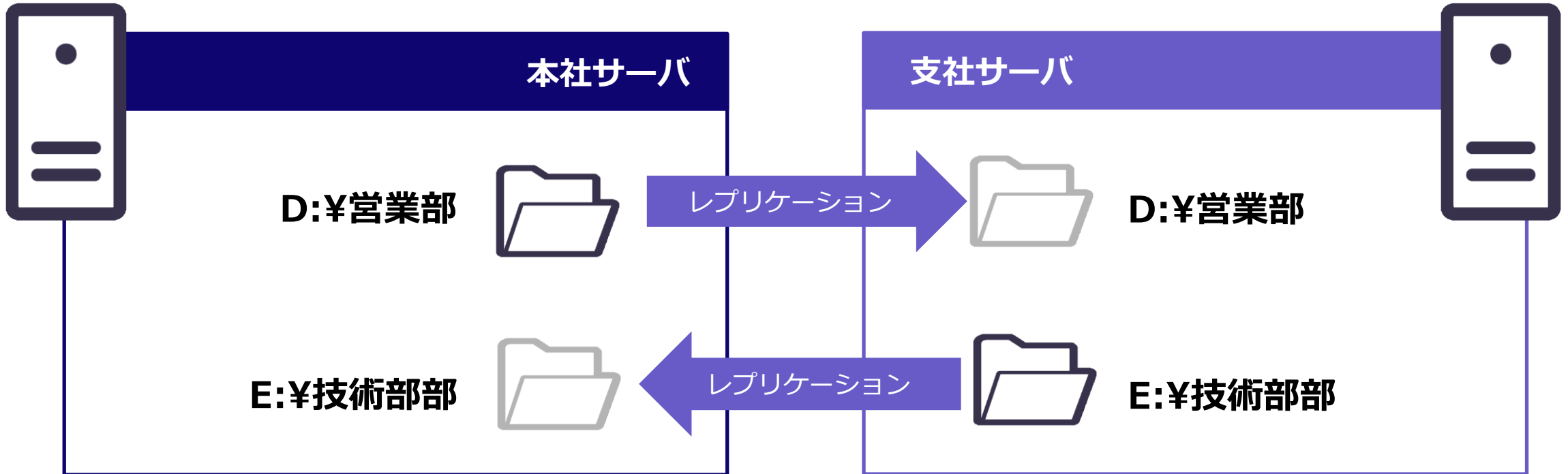


## Arcserve Replication and High Availability の さまざまな構成



# Arcserve Replication 構成例

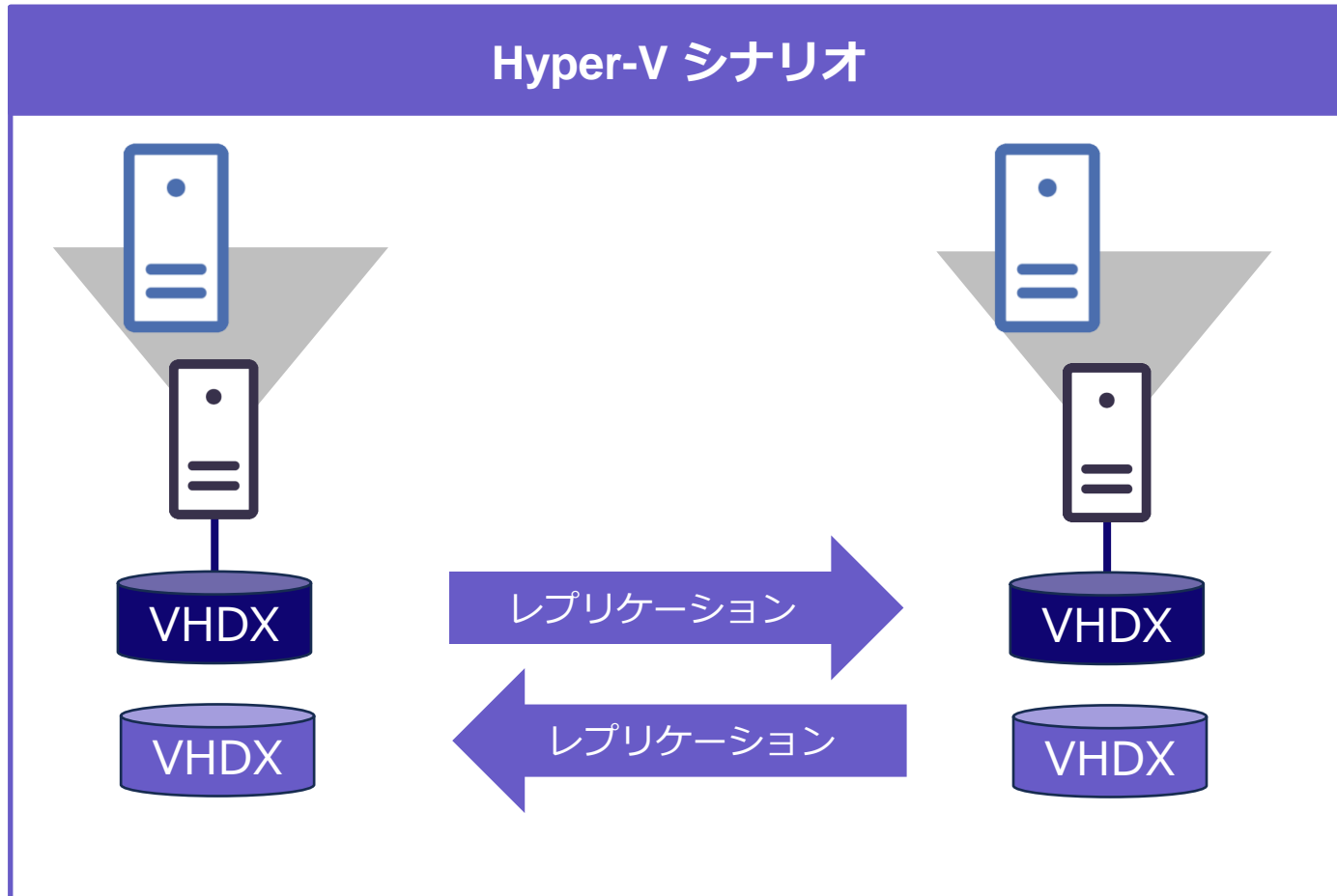
～クロス レプリケーションで台数節約～



レプリケーション対象ディレクトリが重ならないよう、シナリオを2つ作成します。  
サーバ台数の増加を抑えながら、相互に災害対策を実現できる構成です。

# Arcserve Replication / High Availability 構成例

~Hyper-V クロス レプリケーションで台数節約~



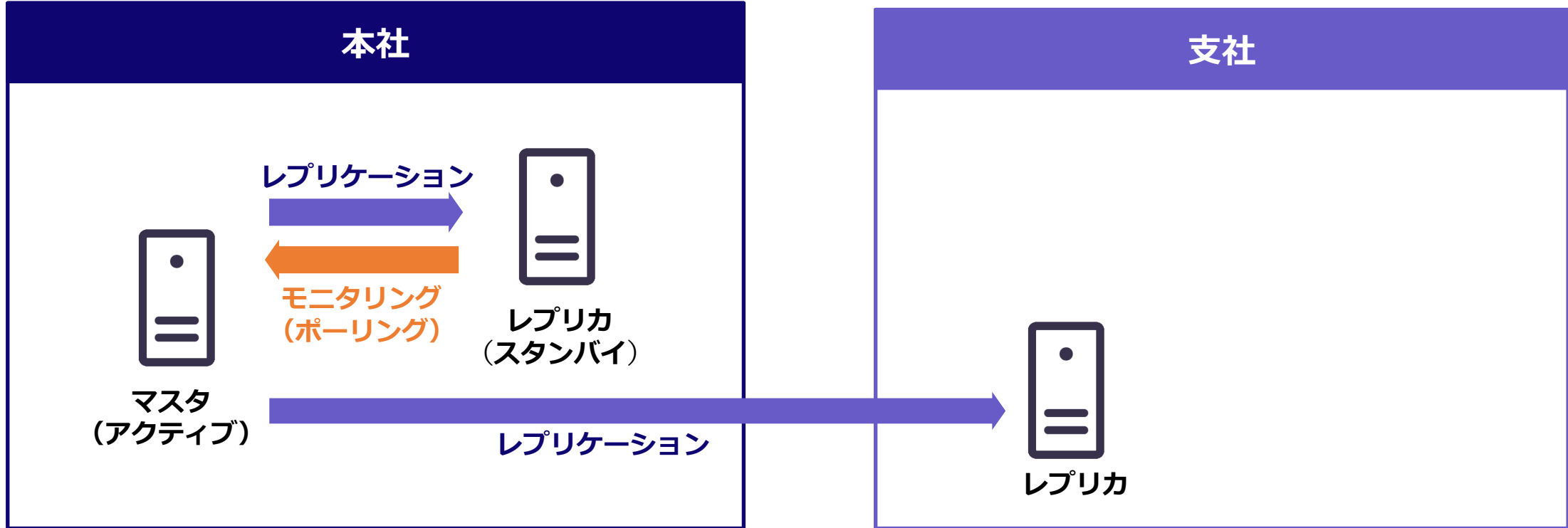
Hyper-V ホストに Arcserve RHA エンジンを実インストールして VHDX や仮想マシン構成ファイルをリアルタイムに複製します。

Hyper-V 仮想マシンを丸ごと複製できる Hyper-V シナリオでは、クロス レプリケーションのシナリオの作成が可能です。

(注：同一の仮想マシンを対象とした クロス レプリケーション シナリオは作成できません)

# Arcserve Replication / High Availability 構成例

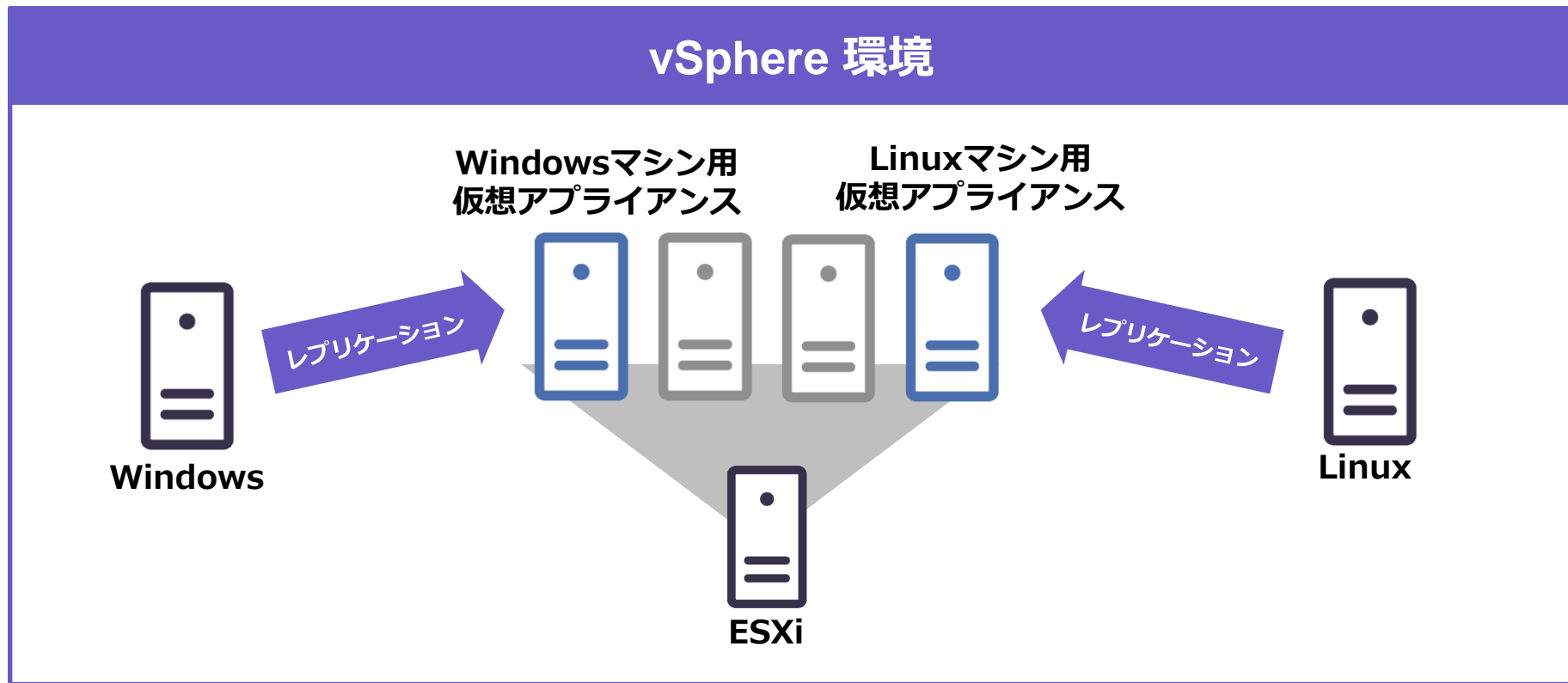
## ～ 組み合わせ例 ～



Arcserve High Availabilityで運用しているサーバを、さらに遠隔地へレプリケーションする構成です。  
ローカル環境では、Arcserve High Availabilityで自動切り替えできるようにし、さらに遠隔地へデータを転送することで災害に備えるといった用途で利用される構成です。

# フルシステム シナリオ Windows/Linux混在 構成例

## ～ 組み合わせ例 ～



フルシステム シナリオで、Windows サーバと Linux サーバの両方を同じ仮想ホスト上にレプリケーションすることは可能です。ただし、その場合、仮想アプライアンスはWindows用とLinux用のそれぞれ1台ずつが最低限必要です。



**Arcserve ポータルサイト** : [www.arcserve.com/jp](http://www.arcserve.com/jp)

カタログセンター（カタログ、ライセンスガイド等）

必要なライセンスについては、**ライセンスガイド**をご確認ください

<https://www.arcserve.com/jp/jp-resources/catalog-center>

**Arcserve サポート ポータルサイト** : <https://support.arcserve.com/s/products-new?language=ja>

動作要件、注意制限事項、製品マニュアルなど

対応するOSやアプリケーションについては、**動作要件(Compatibility Matrix)**をご確認ください



**Arcserve ジャパン ダイレクト**（ご購入前のお問い合わせ窓口）

例：「必要なライセンスは？」、「XXXをサポートしますか？」 等など



フリーダイヤル : **0120-410-116**

（平日 9 : 00~17 : 30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）



Webフォーム : <https://www.arcserve.com/jp/contact-us>



メール アドレス : [JapanDirect@arcserve.com](mailto:JapanDirect@arcserve.com)